

# 花ちゃん、オー君、モンタ博士のわくわくドキドキ冒険記

国立市立国立第七小学校

平成27年12月9日 NO.73 (273)

花ちゃん 「モンタ博士！地球上にはいろいろな生き物が  
たくさんいますが、はじめに地球上にあらわれ  
た生き物って何なのですか。」

モンタ博士 「それは、小学生にはちょっとむずかしいお話だね。  
もう少し大きくなったら勉強してごらん。今日は  
生き物が目に見えるくらいのおおきさやかたちになった  
ころからのお話をしよう。生き物といっても  
植物もあるけど、今日は動物を中心にお話し  
しようね。植物については、またいつかね。」

オー君 「モンタ博士、ぼくたちにもわかるようにお話しして。」

モンタ博士 「はじめはね、いろいろな『無せきつい動物』（せぼねの  
ない動物）からだね。ミミズ、イカ、ハマグリ、  
カニ、昆虫などがそうだね。」

花ちゃん 「そのあと、人間ができてきたの。」

モンタ博士 「まだまだだよ。ハマグリやイカなどを『軟体動物』  
というんだ。それから、カニ、アリ、チョウなど  
を『節足動物』というんだよ。おっといけない、  
お話がむずかしすぎたかな。」

花ちゃん 「それで、それで…」

モンタ博士 「そのような『無せきつい動物』の中から  
『せきつい動物』（せぼねのある動物）がで  
てきたらしいんだ。『せきつい動物』で  
地球上に一番最初に姿を見せたのは魚の  
仲間。『魚類』なんだ。4億年くらい前だね。」



ハマグリ



イカ



カニ



オオムラサキ

オー君 「そのあと、人間ができてきたの。」

モンタ博士 「まだまだまだだよ。」

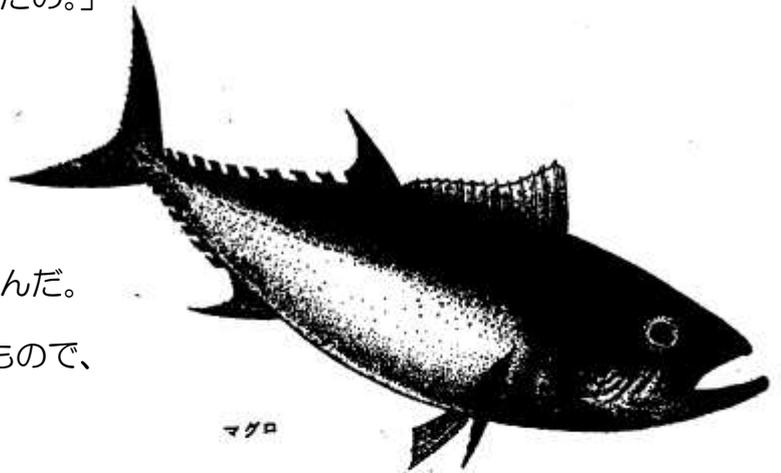
おおむかし さかな なか  
大昔の魚の中に、ひれが

あし か すいちゅう  
足に変わって水中から

りく  
陸にあがるものがでてきたんだ。

それが『両生類』というもので、

これも4億年前くらいだ。」



花ちゃん 「イモリとかカエルですね。そして、

その後、人間ができてきたの。」

モンタ博士 「まだまだまだまだだよ。『両性類』の中で、

おお  
大きなたまごを生むものがでてきて、

『爬虫類』になったんだよ。だいたい

2億年くらい前だね。」



カエル

オー君 「恐竜とか、それからヘビ、ワニ、

トカゲなどですね。その次が人間かな。」

モンタ博士 「そのあと、『爬虫類』は大きく二つに分かれるんだ。

一つは『鳥類』で1億5千年前くらいだ。前足が

つばさになり、羽が生えて体温が高くなった

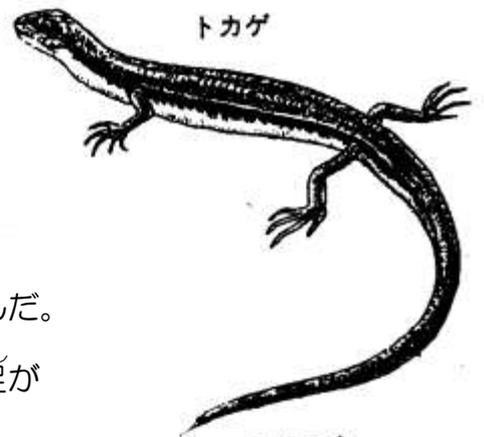
のさ。もう一つは、子どもをたまごではなく、

あかちゃんの形で子どもをうみ、おっぱいで

育てる動物で『哺乳類』さ。6500万年前

くらいだ。そして、人間、つまり『人類』出現は、

いろいろな説があるけど、100万年くらい前かな。」



トカゲ

フクロウ



花ちゃん 「地球ができてから、生き物が生まれ、そして、

私たち『人類』までには、もうめちゃくちゃ

めちゃくちゃ長い年月がかかっているなんて

とっても不思議で驚きですね。」

ウマ

